

◆ 今週のコメント (感染地域、感染経路については推定を含みます。)

- 腸管出血性大腸菌感染症の報告が1例(50歳代女性)あり、症状は腹痛、水様性下痢、血便です。感染地域は国内で、感染経路は経口感染(生ゼンマイ摂取)です。本年の累積報告数は20例となっています。
発生状況の週別推移や血清型別患者数などの詳しい情報については、下記URLを御参照ください。
○腸管出血性大腸菌感染症発生状況(衛生環境研究所ホームページ)
<http://www.city.kyoto.lg.jp/hokenfukushi/page/0000068305.html>
- E型肝炎の報告が1例(70歳代男性)があり、症状は全身倦怠感、食欲不振、黄疸等です。感染地域は国内で、感染経路は不明です。本年の累積報告数は2例となりました。
本市過去3年間において、平成27年は報告がありませんでしたが、平成28年は1例、平成29年にも1例の報告がありました。本疾患の届出基準や届出に必要な要件等については、下記のホームページを御覧ください。
○厚生労働省ホームページ「E型肝炎」
<https://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/kekkaaku-kansenshou11/01-04-01.html>
- 劇症型溶血性レンサ球菌感染症の報告が1例(70歳代男性)あり、症状はショック、腎不全、軟部組織炎等です。本年の累積報告数は5例となりました。
- 百日咳の報告が1例(70歳代女性)あり、症状は持続する咳、夜間の咳き込みです。感染地域は国内、感染経路は不明です。本年の累積報告数は34例となっています。

◆ 今週のトピックス: <RSウイルス感染症>

京都市のRSウイルス感染症の定点当たり報告数は、1.09(47例)、全国の定点当たり報告数は、1.34(4,104例)となりました。詳細をトピックスに掲載しています。

◆ 発生状況

全数把握の感染症

- 二類: 結核 2例(肺結核 1例, その他結核 1例, 潜在性結核感染者 なし)うち喀痰塗抹陽性 1例
【1月以降の累積報告数 219例(肺結核 96例, その他結核 55例, 潜在性結核感染者 68例)うち喀痰塗抹陽性 55例】
- 三類: 腸管出血性大腸菌感染症 1例【1月以降の累積報告数20例】
- 四類: E型肝炎 1例【1月以降の累積報告数 2例】
- 五類: 劇症型溶血性レンサ球菌感染症 1例【1月以降の累積報告数 5例】
- 五類: 百日咳 1例【1月以降の累積報告数 34例】

定点把握の主な感染症

(市内定点数 インフルエンザ定点69, 小児科定点43, 眼科定点10, 基幹定点1)

定点	感染症名	定点当たり報告数	報告数
インフルエンザ*	インフルエンザ	0.00	0
小児科 (降順5位まで)	① 感染性胃腸炎	2.51	108
	② RSウイルス感染症	1.09	47
	③ ヘルパンギーナ	1.05	45
	④ 手足口病	0.74	32
	⑤ A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0.40	17
眼科	流行性角結膜炎	0.10	1

【次ページ以降の主な内容】

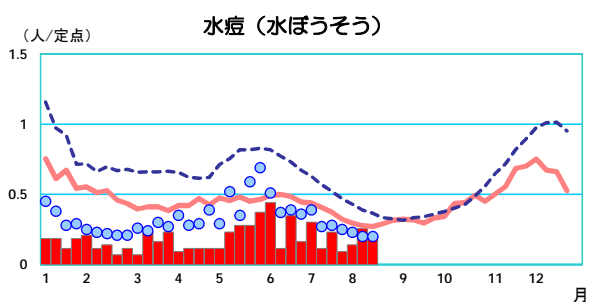
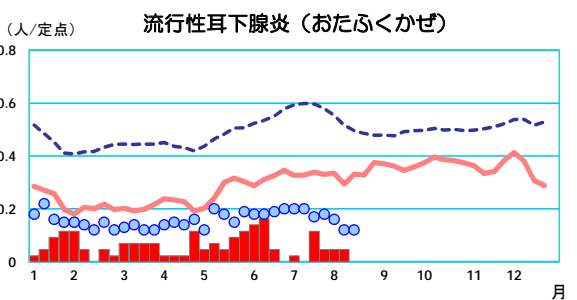
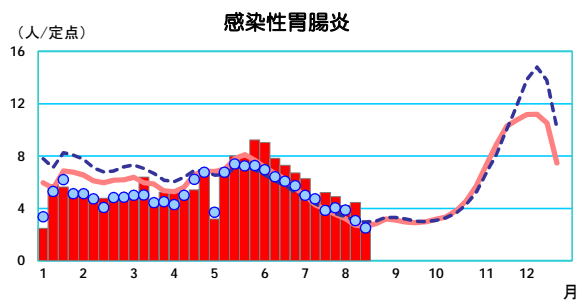
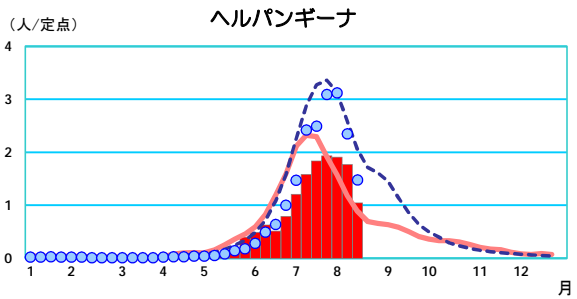
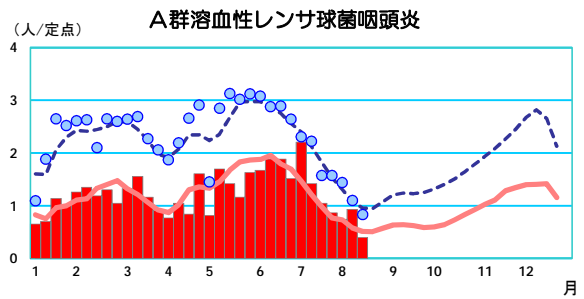
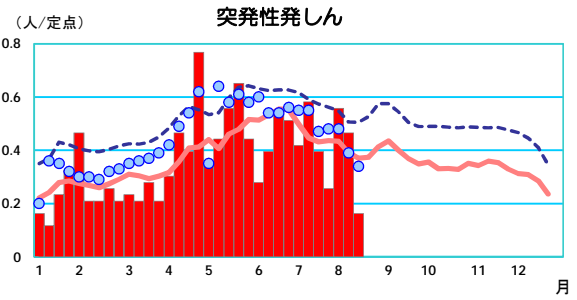
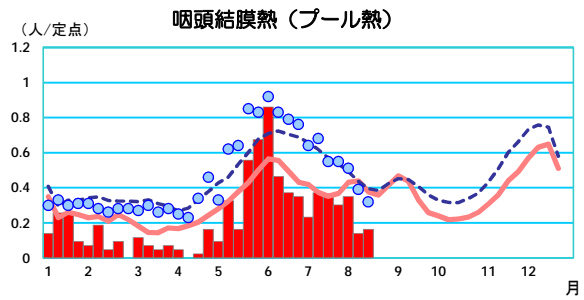
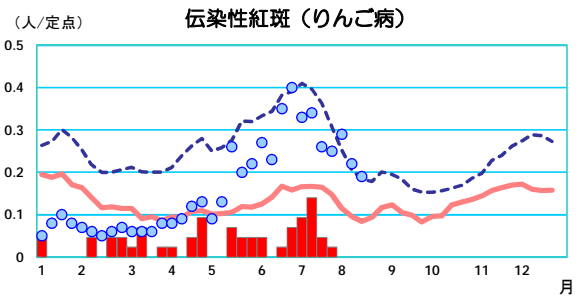
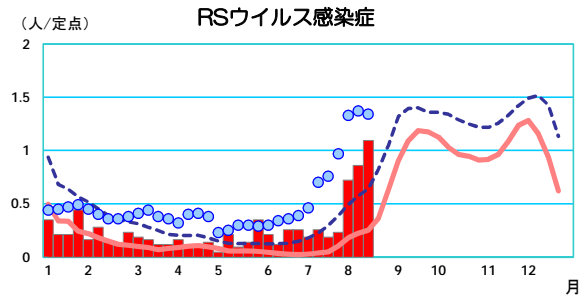
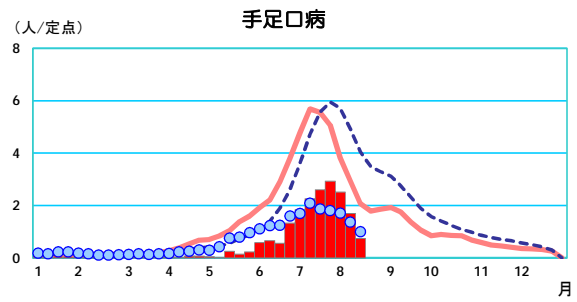
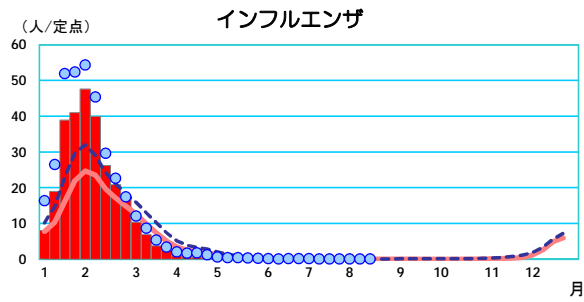
発生状況の概況グラフ / 今週のトピックス: <RSウイルス感染症>
付表(疾病, 行政区別報告数 / 年齢階級, 疾病別報告数 / 週, 疾病別報告数)

(注)京都市のデータは、平成30年8月22日現在の報告数で、全国の還元データと若干異なる場合があります。

また、本情報での患者数は、届出医療機関所在地での集計で、患者の住所を示すものではありません。

* 感染地域及び感染経路については推定を含みます。

インフルエンザ及び小児感染症の疾病別推移グラフ（平成30年）



第33週(8月13日～8月19日)トピックス: <RSウイルス感染症>

京都市のRSウイルス感染症の定点当たり報告数は、1.09（47例）、全国の定点当たり報告数は、1.34（4,104例）となりました(図1)。

全国の定点当たり報告数を年別に比較すると、2007年～2011年のパターン(図2)と2012年以降のパターン(図3)で明確な違いが見られます。2011年までは、冬季に流行する一峰性の流行パターンでしたが、2012年以降は夏季・冬季の二峰性の流行パターンで推移しています。そして、今年は、更に早い時期に流行が始まり、夏季流行のピークを迎えつつあります。

RSウイルスの感染経路は、空气中に排出された飛沫・分泌物による接触感染です。空气中の小さな飛沫は、高温多湿の環境では長時間安定するため、亜熱帯気候地域の夏季流行の一因と言われています。京都市の2007年～今年の8月までの平均気温は4.6℃～28.7℃、平均湿度は58～68%で推移しています(図4)。7月に注目すると2007年～2017年の平均27.5℃に対し、今年の平均気温は、29.8℃まで上昇しており、流行のスタートが早かった一因と思われます。

夏季休暇も終わり、集団生活の開始とともに、集団感染のリスクが高まります。発症の中心は0歳児と1歳児ですが、年長児や成人の再感染以降は、感冒様症状又は気管支炎症状のみである場合が多く、RSウイルス感染症と気付かれていない場合が多くあります。咳等の呼吸器症状を認める年長児や成人は、可能な限り0歳児と1歳児との接触を避けることが乳幼児の発症予防に繋がります。

また、子どもたちが日常的に触れるおもちゃ、手すりなどはこまめにアルコールや塩素系の消毒剤等で消毒し、流水・石鹸による手洗いか又はアルコール製剤による手指衛生の励行を行いましょ。

京都市ではRSウイルス感染症についてポスター、リーフレットでも紹介しています。

○「京都市こどもの感染症, RSウイルス感染症の秋」(平成30年9月号)

<http://www.city.kyoto.lg.jp/hokenfukushi/page/0000146238.html>

○「京都市こどもの感染症リーフレット, RS感染症」

<http://www.city.kyoto.lg.jp/hokenfukushi/cmsfiles/contents/0000197/197526/RSvirus.pdf>

図1 京都市及び全国の定点当たり報告数の推移

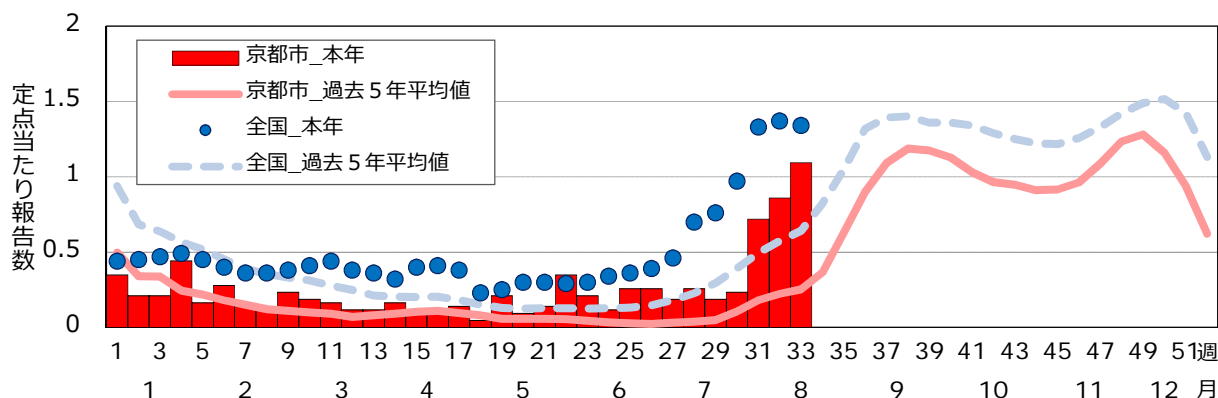


図2 2007～2011年の全国の週別報告数

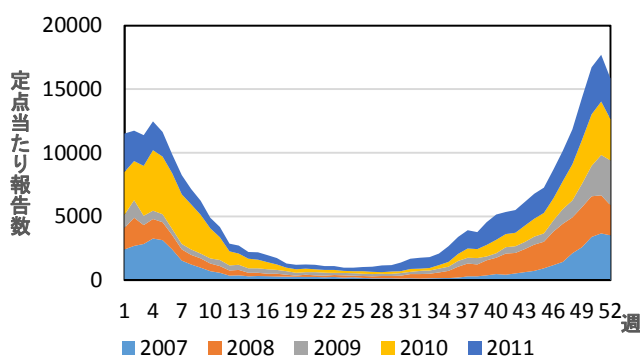


図3 2012～2018年の全国の週別報告数

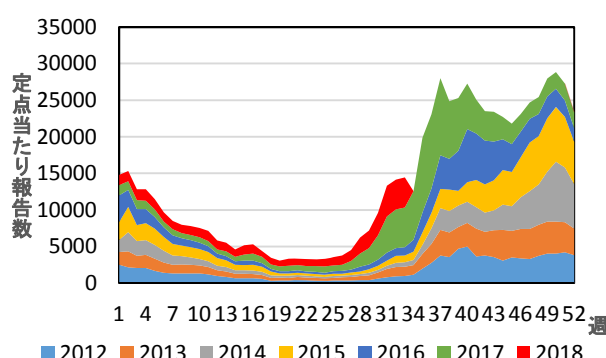
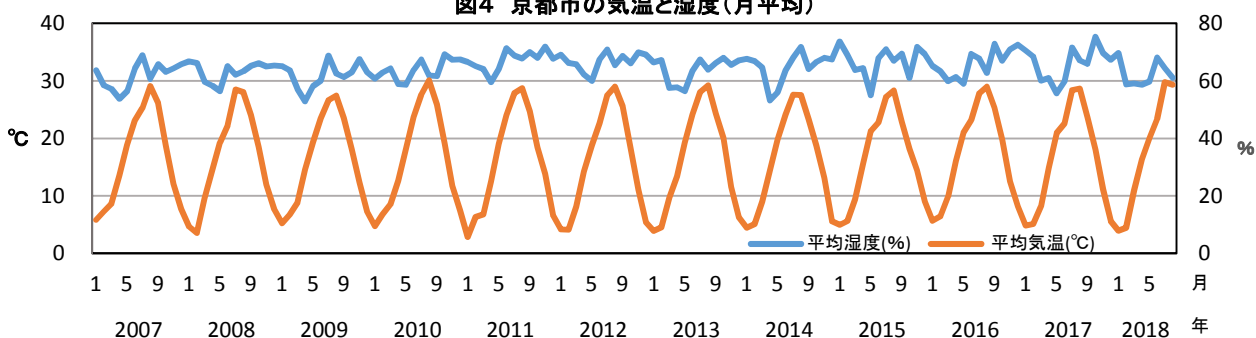


図4 京都市の気温と湿度(月平均)



T3201

京都市感染症発生動向調査情報

集計対象:平成30年第33週

疾病,行政区別報告数

平成30年8月13日～平成30年8月19日

データ入手日:平成30年8月22日

	インフルエンザ(※1)	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎(※2)	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎(※3)	感染性胃腸炎(※4)	
男女合計	-	2	-	1	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
北	-	2	-	1	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
上京	-	2	1	1	2	-	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
左京	-	3	-	-	16	1	4	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
中京	-	4	-	2	5	-	2	-	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-
東山	-	5	-	1	17	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山科	-	7	-	-	2	-	1	-	-	5	-	-	-	-	-	-	-	-	-
下京	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
南	-	-	-	-	2	1	3	-	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-
右京	-	11	6	2	13	-	7	-	2	6	-	-	1	-	-	-	-	-	-
伏見	-	11	-	7	41	5	14	-	3	20	-	-	-	-	-	-	-	-	-
西京	-	2	-	3	10	2	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-
京都市計	-	47	7	17	108	9	32	-	7	45	-	-	1	-	-	-	-	-	-

疾病,行政区別定点当たり報告数

	インフルエンザ(※1)	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎(※2)	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎(※3)	感染性胃腸炎(※4)	
男女合計	-	0.50	-	0.25	-	-	0.25	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
北	-	0.50	-	0.25	-	-	0.25	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
上京	-	0.67	0.33	0.33	0.67	-	-	-	0.33	0.33	-	-	-	-	-	-	-	-	-
左京	-	0.75	-	-	4.00	0.25	1.00	-	0.25	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
中京	-	1.33	-	0.67	1.67	-	0.67	-	-	1.33	-	-	-	-	-	-	-	-	-
東山	-	2.50	-	0.50	8.50	-	-	-	-	1.00	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山科	-	1.40	-	-	0.40	-	0.20	-	-	1.00	-	-	-	-	-	-	-	-	-
下京	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
南	-	-	-	-	0.67	0.33	1.00	-	-	1.33	-	-	-	-	-	-	-	-	-
右京	-	2.20	1.20	0.40	2.60	-	1.40	-	0.40	1.20	-	-	1.00	-	-	-	-	-	-
伏見	-	1.57	-	1.00	5.86	0.71	2.00	-	0.43	2.86	-	-	-	-	-	-	-	-	-
西京	-	0.40	-	0.60	2.00	0.40	-	-	-	0.60	-	-	-	-	-	-	-	-	-
京都市計	-	1.09	0.16	0.40	2.51	0.21	0.74	-	0.16	1.05	-	-	0.10	-	-	-	-	-	-

※1 インフルエンザは、鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症は除くが、新型インフルエンザのうち、A/H1N1については含む。

※2 細菌性髄膜炎は髄膜炎菌、肺炎球菌、インフルエンザ菌を原因として同定された場合を除く。

※3 クラミジア肺炎はオウム病を除く。

※4 感染性胃腸炎は病原体がロタウイルスであるものに限る。

京都市感染症発生動向調査情報

集計対象:平成30年第33週

年齢階級, 疾病別報告数

平成30年8月13日～平成30年8月19日

データ入手日:平成30年8月22日

京都市	年齢1	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳-	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳-	80歳以上	
	年齢2	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳-	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳以上		
男女合計	年齢3	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳以上	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳-	80歳以上	
	年齢4	総数	0歳	1歳-	5歳-	10歳-	15歳-	20歳-	25歳-	30歳-	35歳-	40歳-	45歳-	50歳-	55歳-	60歳-	65歳-	70歳以上					
インフルエンザ(※1)	年齢1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
RSウイルス感染症	年齢3	47	9	11	25	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
咽頭結膜熱		7	-	-	2	-	1	-	3	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		17	-	-	-	1	3	2	1	-	1	2	2	4	-	1	-	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎		108	1	15	10	22	6	7	11	8	7	6	2	7	-	6	-	-	-	-	-	-	-
水痘		9	1	-	-	-	1	2	-	1	1	-	2	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
手足口病		32	-	2	17	3	1	4	-	1	-	-	-	1	-	3	-	-	-	-	-	-	-
伝染性紅斑		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
突発性発しん		7	-	-	5	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ヘルパンギーナ		45	3	4	18	6	3	1	2	1	2	2	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性耳下腺炎		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
急性出血性結膜炎	年齢2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
流行性角結膜炎	年齢2	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	
細菌性髄膜炎(※2)	年齢4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
無菌性髄膜炎		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
マイコプラズマ肺炎		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
クラミジア肺炎(※3)		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
感染性胃腸炎(※4)		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	

年齢階級, 疾病別定点当り報告数

京都市	年齢1	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳-	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳-	80歳以上	
	年齢2	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳-	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳以上		
男女合計	年齢3	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳以上	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳-	80歳以上	
	年齢4	総数	0歳	1歳-	5歳-	10歳-	15歳-	20歳-	25歳-	30歳-	35歳-	40歳-	45歳-	50歳-	55歳-	60歳-	65歳-	70歳以上					
インフルエンザ(※1)	年齢1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
RSウイルス感染症	年齢3	1.09	0.21	0.26	0.58	0.05	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
咽頭結膜熱		0.16	-	-	0.05	-	0.02	-	0.07	-	-	-	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		0.40	-	-	-	0.02	0.07	0.05	0.02	-	0.02	0.05	0.05	0.09	-	0.02	-	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎		2.51	0.02	0.35	0.23	0.51	0.14	0.16	0.26	0.19	0.16	0.14	0.05	0.16	-	0.14	-	-	-	-	-	-	-
水痘		0.21	0.02	-	-	-	0.02	0.05	-	0.02	0.02	-	0.05	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-
手足口病		0.74	-	0.05	0.40	0.07	0.02	0.09	-	0.02	-	-	-	0.02	-	0.07	-	-	-	-	-	-	-
伝染性紅斑		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
突発性発しん		0.16	-	-	0.12	0.05	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ヘルパンギーナ		1.05	0.07	0.09	0.42	0.14	0.07	0.02	0.05	0.02	0.05	0.05	-	0.07	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性耳下腺炎		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
急性出血性結膜炎	年齢2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
流行性角結膜炎	年齢2	0.10	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.10	-	-	-	-	-	-	-	-	
細菌性髄膜炎(※2)	年齢4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
無菌性髄膜炎		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
マイコプラズマ肺炎		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
クラミジア肺炎(※3)		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
感染性胃腸炎(※4)		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	

※1 インフルエンザは、鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症は除くが、新型インフルエンザのうち、A/H1N1については含む。

※2 細菌性髄膜炎は髄膜炎菌、肺炎球菌、インフルエンザ菌を原因として同定された場合を除く。

※3 クラミジア肺炎はオウム病を除く。

※4 感染性胃腸炎は病原体がロタウイルスであるものに限る。

T3203

京都市感染症発生動向調査情報

集計対象:平成30年第33週

週, 疾病別報告数

データ入手日:平成30年8月22日

京都市 男女合計	5週前	4週前	3週前	2週前	1週前	今週
インフルエンザ (※1)	2	3	3	1	-	-
RSウイルス感染症	11	8	10	31	37	47
咽頭結膜熱	16	15	13	15	6	7
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	61	45	37	32	40	17
感染性胃腸炎	213	224	211	181	192	108
水痘	5	10	4	6	11	9
手足口病	97	112	126	108	73	32
伝染性紅斑	6	2	1	-	-	-
突発性発しん	25	17	11	24	20	7
ヘルパンギーナ	68	79	83	82	76	45
流行性耳下腺炎	-	5	2	2	2	-
急性出血性結膜炎	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎	6	3	7	8	3	1
細菌性髄膜炎 (※2)	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	-	-	-	-	-	-
クラミジア肺炎 (※3)	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎 (※4)	-	-	-	-	-	-
合計	510	523	508	490	460	273

週, 疾病別定点当たり報告数

京都市 男女合計	5週前	4週前	3週前	2週前	1週前	今週
インフルエンザ (※1)	0.03	0.04	0.04	0.01	-	-
RSウイルス感染症	0.26	0.19	0.23	0.72	0.86	1.09
咽頭結膜熱	0.37	0.35	0.30	0.35	0.14	0.16
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1.42	1.05	0.86	0.74	0.93	0.40
感染性胃腸炎	4.95	5.21	4.91	4.21	4.47	2.51
水痘	0.12	0.23	0.09	0.14	0.26	0.21
手足口病	2.26	2.60	2.93	2.51	1.70	0.74
伝染性紅斑	0.14	0.05	0.02	-	-	-
突発性発しん	0.58	0.40	0.26	0.56	0.47	0.16
ヘルパンギーナ	1.58	1.84	1.93	1.91	1.77	1.05
流行性耳下腺炎	-	0.12	0.05	0.05	0.05	-
急性出血性結膜炎	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎	0.60	0.30	0.70	0.80	0.30	0.10
細菌性髄膜炎 (※2)	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	-	-	-	-	-	-
クラミジア肺炎 (※3)	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎 (※4)	-	-	-	-	-	-
合計	12.30	12.37	12.32	12.00	10.93	6.43

※1 インフルエンザは、鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症は除くが、新型インフルエンザのうち、A/H1N1については含む。

※2 細菌性髄膜炎は髄膜炎菌、肺炎球菌、インフルエンザ菌を原因として同定された場合を除く。

※3 クラミジア肺炎はオウム病を除く。

※4 感染性胃腸炎は病原体がロタウイルスであるものに限る。